

H.A.L.'s Circle Review5000 号 誠におめでとうございます。

思い返せば、私が H.A.L.'s Circle Review を拝読する様になったのは、確か 100 号辺りからだだったと記憶しています。読み重ねるにつれ「凝縮された音像が三次元的に定位する」と書かれている音をどうしても聴いてみたくなり、川又ルームにお邪魔したのが 2001 年 7 月の事でした。

持参した試聴曲に興味を持って頂き、そこから川又さんとのメールのやり取りが始まり、いつの間にか、Y'Acoustic System として今に至るわけですが…あの時の「感動体験」と「レビューに書かれている文章が紐解かれた感覚」は今でも鮮明に覚えています。

H.A.L.=機器のポテンシャルが如実に分かってしまう検証環境 H.A.L.'s Circle Review=検証結果を詳細にレポートそして、気になるレポートが有れば、予約をすれば誰でも実際に聴ける。

このサイクルを 26 年間も続けている方は、世界的にみても川又さんだけだと思います。

川又さんとの出会いや川又ルームでご紹介頂いた方々との出会いなしでは Y'Acoustic System が誕生することはありませんでした。

H.A.L.で育った Y'Acoustic System の製品は H.A.L.での検証をクリアして初めて製品化されるのですが、それは自分がかつて体験した「感動を届けられる製品」の基準が H.A.L.であり、その感動をお客様にお届けしたいからです。

素晴らしい出会いに深い感謝と共に、改めて 5000 号、本当におめでとうございます。

AI に質問すれば答えてくれる今だからこそ、これからも「リアルな体験からの発信」に拘って「実際に聴ける、聴けば判る」実在するハイエンドオーディオの検証環境と検証結果である H.A.L.'s Circle Review を 1 号でも長く継続頂けることを切に願います。

Y' Acoustic System 吉崎 康晴